

## 当院において黄斑下出血の治療を受けられた方

### およびそのご家族の方へ

#### —「黄斑下出血の治療に関する研究」へご協力のお願—

研究機関名およびその長の氏名 岡山大学病院 前田 嘉信  
研究責任者 岡山大学病院 眼科 森實 祐基

#### 1) 研究の背景および目的

眼の光を感じる網膜で最も重要なところである黄斑の下に出血する方がおられます（黄斑下出血といいます）。これまで、黄斑下出血に対して、出血を黄斑部から外側の網膜の下に移動する加療の有効性が報告されていますが、出血の濃度や範囲、経過した日数により、その手術効果はさまざまです。そこで、今回の研究では、黄斑下出血がある患者さんにどのような治療が最適であるかを検討することを目的に調査を行います。

#### 2) 研究対象者

2013年4月1日～2030年3月31日の間に岡山大学病院眼科において黄斑下出血の治療を受けられた方200名を研究対象とします。

#### 3) 研究期間

倫理委員会承認後～2031年3月31日

#### 4) 研究方法

当院において黄斑下出血の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにデータを選び、視力に関する分析を行い、黄斑下出血の方が治療によりどのような経過をたどるかについて調べます。

#### 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・ 患者情報：年齢、性別、診断名、患眼、発症時期、手術日、手術内容、全身既往歴、眼既往歴、眼合併症、眼科検査情報（視力、眼圧、前眼部検査、散瞳眼底検査、カラー眼底写真、蛍光眼底造影写真、OCT画像、視野検査、網膜電図検査、眼軸長）

#### 6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院眼科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

## 7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 眼科

氏名：的場 亮

電話：（平日9時00分～17時）：086-235-7297

（土日祝日夜間）：086-235-7882